

日野病院の地域医療総合教育研修センターだより

1. 総合診療外来での学び —医学生の外来実習—

5月から8月にかけて、日野病院総合診療科と江尾診療所の外来で、医学生6年生の実習を行いました。医学生が実際に外来を行う実習は日本でも始まったばかりで、先進的な試みとして、日野病院の患者さまにご協力をしていただきました。ありがとうございました。

学生たちは、「大学で習ったコミュニケーションスキルでは診察がなかなかできない!」「患者さんの想いを考えつつ、治療方針を出す困難さを感じた。」など、いろいろな葛藤を感じることができたようでした。この実習での経験が、研修医になった時に生きてくれるのではないかと楽しみにしています。また、この実習の報告会では、「外来でもやもやしたこと」「心を動かすには」などをテーマに発表してくれました。

来年もこの実習を行って行く予定にしていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。もし、こういう風にしたほうがさらに良くなるんじゃないかななどの意見がありましたら、ご一報ください! (井上)



糖尿病をわかりやすく患者さんに伝えるために学生さんが書いた図

2. 地域で学ぶ学生たち —黒坂 春夏秋冬セミナー—

最近様々学生がどんどん日野町に繰り出して実習を行うようになってきました! 黒坂を舞台に1年間継続的に同じメンバーが実習を行う「黒坂 春夏秋冬セミナー」では鳥取大学の医学生、看護学生、そして米子医療福祉専門学校 (YMCA) の理学療法、作業療法を目指す学生が一緒になって地域を肌で感じ、調査し、地域から学ぶ実習を行っています。5月29日に日野町のツアーを黒坂散策、8月8日には光西寺のお盆前の清掃や鮎釣り、8月15日には黒坂の納涼祭に参加してきました。学生たちは皆、きれいな空気、豊かな自然の中で地域で働く医療のやりがいを感じてくれているようです (朴)。

